

●世田谷区政や日本共産党へのご意見をお寄せ下さい。



2015年12月4日、成城ホールにて日本共産党演説会を行いました。

あけましておめでとうございませう。
 戦争法廃止に向けた大きな一歩を踏み出す年にしよう。
 野党共闘の実現に誠実に努力し、参院選で与野党
 逆転に全力をつくします。
 みなさんとともにがんばります。

日本共産党世田谷区議団

— 子ども、若者応援の区政を —

日本共産党は、貧困の連鎖によって子どもの将来が閉ざされることがないように、また若者が希望を持てる社会をつくるために奮闘してきました。今年も子ども、若者を応援します。

子ども応援① 570人の就学援助を守りました

就学援助は、経済的理由で就学困難な家庭に対し、給食費や学用品費などを補助する制度です。世田谷では約5,500人の児童・生徒が受けています。

安倍政権の生活保護基準引き下げによって、就学援助を縮小する自治体が広がっています。日本共産党は、区の就学援助の引き下げを行わないことをくり返し求め、その結果、3年間で570人の児童・生徒の就学援助を守りました。

子ども応援② 「せたぜミ」(無料塾)がスタート

経済的理由で塾に行くことが困難な家庭に対する無料の学習塾「せたがやゼミナール(せたぜミ)」が上北沢、三軒茶屋でスタートしました。4月以降、さらに5支所の地域に拡大します。日本共産党の提案が実ったものです。

若者応援① 給付型奨学金(児童養護施設退所者が対象)を実施へ

児童養護施設の退所者が大学や短大などに進学・通学する資金の一部を支援するための給付型奨学金が3月から実施されます。給付額は年額36万円です。また、低家賃の住宅提供も行っています。日本共産党はさらに、ひとり親家庭や生活保護家庭も対象にするよう求めています。

若者応援② ブラック企業、ブラックバイトから若者を守れ

若者を過酷な労働条件で働かせたうえに使い捨てるブラック企業やブラックバイトが社会問題となっています。日本共産党は、国会でブラック企業の調査・公表を実施させ、区でもブラック企業から若者を守るセミナーを行わせました。



江口じゅん子

区が学校給食費値上げを提案……値上げを抑え、質の確保に努力を

来年度から学校給食費の約7%値上げが提案されました。食材費高騰等により、現状では給食の質が維持できないというのが理由です。私は区立小・中の子を持つお母さんの声を紹介し、値上げが生活に少なくない影響をもたらす事を指摘。区には、値上げを極力抑え、質の確保への努力を求めました。

ワンストップの子育て相談・支援「センター」の設立を

私は自身の経験をふまえ、この間一貫して「妊娠期からの切れ目のない子育て支援（世田谷版ネウボラ）の充実を求めてきました。妊産婦・子育て中のママ・パパがワンストップで相談・支援を受けられる「子育て世代包括支援センター」設置を提案。区は「区民の目線に立ち、検討を進めていく」と答弁しました。



桜井みのる

平和資料館の充実を

戦争の悲惨さ平和の尊さを子どもたちや後世の人たちに伝えていくことを目的に、区の平和資料館が世田谷公園に新設されました。資料館の展示資料の充実などを求め、区は資料の充実や戦争体験の語り部、学芸員の配置などを検討していくと答えました。

三軒茶屋駅南口にエレベーター設置を

東急は住民との話し合いでエレベーター設置に向けたプロセス表を示しました。そして8月に駅入口の歩道の試掘調査を行ないました。その新しい動きの中で区として住民要求にこたえるために、エレベーター設置を東急に働きかけるよう求めました。区は「東急に整備を要請するとともに、エレベーター設置の実現に向け取り組んでいく」と答えました。



たかじょう訓子

新しい総合事業について

新しい総合事業（「介護予防・日常生活支援総合事業」）は介護保険制度改正により、予防給付（訪問介護・通所介護）を地域支援事業として区が行うものです。自宅での入浴が困難な人に対して、これまでと同じように入浴サービスを受けられるようにすべきと求めました。区は、入浴サービスは、利用者の状態とともに「要望を聞き決めていく」と答弁しました。

不登校の問題について

不登校の子どもたちが通うひなぎく学級やほっとスクールで、一人一人の成長に合わせた学習支援を充実させることを求めました。様々な状況の児童生徒一人ひとりに寄り添った指導や支援に取り組んでいる。さらに、不登校対策を充実していくと答弁しました。



中里光夫

代沢の住宅地を分断する都市計画道路 26 号線の事業化やめよ

都市計画道路補助 26 号線の代沢 1 丁目の淡島通りから北沢 1 丁目の三角橋までの区間の事業化を前提とした計画変更の手続きが始まっています。変更の内容は井の頭線をアンダーパスで交差すること、そのために長い堀割り、幅員を 20m から 33m へ拡大するものです。「地域を分断する」「地域への影響が大きい、住環境が悪化する」などの住民の声を紹介し、事業化をやめるよう求めました。

陶芸教室、園芸講座など高齢者の「生きがい講座」継続を

「代田陶芸教室」「土と農の交流園・造園コース、花コース」などの「生きがい講座」の廃止が検討されていることが明らかとなりました。私は区民の声を受けて講座の継続を求めました。区は「見直しを急ぎすぎた」「時間をとって相談」と答弁しました。



村田義則

本庁舎整備は区民合意が前提

本庁舎の整備は、区民の中では十分な理解も合意もありません。進めるにあたっては整備の必要性、どのような庁舎が求められているか、費用負担と区財政への影響などについて、区民の理解と賛同が前提です。「区民への説明と意見を聞くことを誠実に進めるべき」と指摘し、区長の基本姿勢を問いました。区長から「説明と意見聴取の場をつくる」などの答弁がありました。

駒沢公園の屋外プールの整備を

都は、駒沢公園の屋外プールを老朽化を理由に廃止するとしています。このプールは「ワンコイン」で楽しめる地域のスポーツ、レクリエーション施設となっていました。住民から整備の要望が寄せられています。都にプール整備を要望すべきと求めました。区は、要望を伝えると答弁しました。

保育園、高齢者施設の整備に都用地の活用を

私は都用地の活用で保育園や高齢者施設の建設をすすめるよう求めました。その結果、用賀では都内初の交通局用地への保育園、高齢者施設の整備がすすんでいます。また、都立公園内の保育園の導入について都は、公園面積を減らさずに設置できる仕組みを構築すると答弁し、都立祖師谷公園内と蘆花恒春園内への保育園整備がすすめられています。



都議会議員 里吉ゆみ

第4回区議会定例会 保坂区政2期目の 初めての予算編成は 区民のくらし、 福祉を守るものに 代表質問をした江口じゅん子区議に聞く



(代表質問をする江口じゅん子区議)

戦争法・沖縄問題について

Q 国政では戦争法・沖縄問題が大きな争点となるなかでの区議会でしたが、どうだったでしょうか。

A 安倍政権は、国民多数の反対を押し切って戦争法を強行しました。民主主義の破壊という点では、同じ事態が沖縄で起こっています。

私は、沖縄辺野古新基地問題における、行政不服審査や代執行に向けた訴訟提起等の国による地方自治蹂躪の問題を厳しく批判しました。区長は「沖縄・県の民意・自己決定権を尊重し…対話を」と答弁しました。

保坂区政2期目の予算は、福祉・区民生活応援予算を

Q 区政での今議会の焦点はなんだったのでしょうか。

A 保坂区政2期目の最初の予算編成が焦点になりました。アベノミクスの失政、消費税増税、物価高により、区民生活は確実に厳しさを増しています。私自身スーパーで買い物をすると食品・日用品が値上がりしていること、子どもが産まれて家計に余裕がなくなってきたことを実感します。

私は庶民の声、暮らしの声を届けたいと思い、パン・卵やボディソープがいくら値上がっているか、また地元の酒屋が経営難で閉まり、地域に酒屋が無くなったこと等生活の実態を述べ、それらを踏まえて新年度予算は区民の暮らし・福祉を守る予算にすべきと求めました。

区民生活を守る施策の拡充を

①就学援助について

Q 区議団の具体的な要望・提案はどういったものでしたか。

A 区民生活を守る施策として、1つ目に生活保護基準の見直しに伴い影響の生じる事業への区の対応の継続を求めました。

生活保護基準は多くの社会保障制度の基準であり、就学援助など他の施策に次々と連動します。激変緩和期間が終了する来年度以降の対応の継続を求めました。

②学校給食費値上げについて

2つめに学校給食費値上げについて質問しました。

小・中学校の2人のお子さんを持つある家庭では年間7,113円の値上げになります。ただでさえ塾等の教育費がかかり、住宅ローン等を抱える子育て世代にとって値上げは生活に少なからず影響をもたらします。私は区に値上げを極力抑え、質の確保の努力を求めました。

③国民健康保険保険料について

3つめに高すぎる国保料について、区独自軽減を求めました。

国保料の均等割は今年度44,700円。「均等割額」は所得や年齢に関係なく加入者全員に一律にかかる保険料です。

子どもの数が増えれば保険料は高くなり、これから子どもを持ちたい、兄弟を作りたいと考えている子育て世代にとって大きな負担であり、子育て支援と逆行していることを指摘しました。

介護職の処遇改善、待機児解消について

Q 介護問題はどうでしょうか。

A 2025年の大介護時代に向けて、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らしていくためには、身近に質の高いサービスを提供する介護施設がある事が重要です。量の整備とともに質の確保が大変重要であり、今回は区長に介護職の処遇改善について、区として積極的な対策に取り組むことを求めました。

区長からは「区として…区内介護施設等の勤務状況、実態がどうなのか急いで把握していくことが大事…」「実態を踏まえて…検討してまいりたい」と前向きな答弁がありました。

Q 子育て分野では、保育園の待機児問題が引き続き深刻です。

A 保護者にとっては保育園が決まらない事で仕事が続けられなくなる等切実な声が寄せられています。今後も認可を中心に質と量の確保に全力で取り組むことを強く求めました。

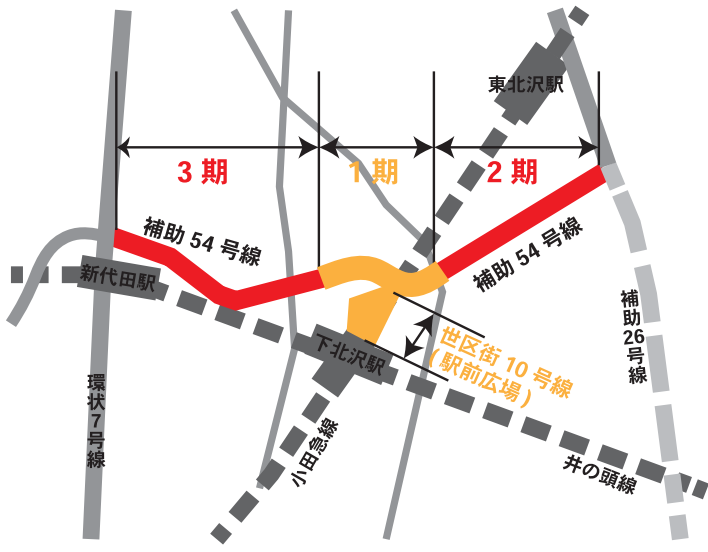
男女平等と多様性を尊重する社会へ

区は同性カップルによるパートナーシップ宣誓を開始しました。日本では5.2%がLGBT(※)と言われています。LGBTの多くの人があるのままで生きられない現実があります。

日本共産党は、今回の区の取り組みについて、区が同性パートナーを公認することで、誰もが自分のセクシュアリティに誇りをもち、差別のない、多様性を認め合い、人権を尊重する社会を目指す試みとして評価しました。さらに、LGBTの人権向上と区民理解が広がるよう啓発・広報に取り組むよう求めました。

(※)LGBTとは、性的少数者のことで、同性愛者、両性愛者、性同一性障害を含む心と体の性が一致しない人など多様な性が存在します。

下北沢の都市計画道路補助 54 号線 東京都が 2 期、3 期事業を第 4 次優先整備路線から外す案を発表



(都市計画道路補助 54 号線)

東京都は 2015 年 12 月に「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）(案)」で今後優先的に整備する路線を選定した「優先整備路線」を発表しました。

下北沢の補助 54 号線は小田急線の地下化に合わせ、北沢 1 丁目の三角橋から環 7 までの区間を 3 期に分けて整備する補助幹線道路の計画で、下北沢駅周辺の第 1 期がすでに事業化され整備が始まっています。2 期、3 期事業については、従来優先整備路線の位置付けでしたが、今回の整備方針案では、その対象から外されました。

下北沢の 54 号線をめぐっては、大きな道路が街の魅力を破壊すると住民の反対運動が盛んに繰り広げられてきました。差し止めを求める行政訴訟も行われています。日本共産党はまだ事業化されていない 2 期、3 期事業はやめるよう求めてきました。

一方、経堂・船橋を横断する補助 52 号線（補助 128 号線～環 8 の区間）や桜上水・経堂を南北に通る補助 133 号線（補助 52 号線～首都高 4 号線の区間）、烏山を南北に走る補助 216 号線（甲州街道旧道～首都高 4 号線の区間）などが、新たに優先整備路線に加わりました。

みんなの声で実現しました！ 外環道工事現場から発見 古墳時代の遺跡 とのやまおうけつぼぐん 殿山横穴墓群が保存へ

外環道工事により、6～7 世紀の遺跡「横穴墓」が 17 基発見されました。地元からは郷土史の貴重な宝の保存を求める運動が精力的に行われました。

江口区議は区民の声を受けて遺跡の保存を求める質問を行い、保坂展人区長からは国等に保存を要望していくとの答弁がありました。

その後、国から横穴墓の 1 基を保存し、教育的・文化的資源として、今後区と共同で保存・活用を検討する旨の発表が行われました。

江口区議は代表質問で、区長に「田直公園と一体に遺跡公園の整備を」の住民提案を交え質問、区長からは「検討会の議論をしっかりとやるように指示していきたい」との答弁がありました。



副葬品

横穴墓の中から、葬られた人の「人骨」とともに、お弔いをするために埋めた「副葬品」が見つかりました。副葬品は、鉄の刀や矢じりなどの「武器・武器類」、首飾りなどの装飾品などです。副葬品は葬られた人の地位を象徴するものですが、多くは後の時代に盗掘されてしまい、このように多く出土するのは珍しいようです。



須恵器 (提瓶) (4 号墓から出土)
(水筒に使われた「提瓶」を模した副葬品)



鉄の刀 (3 号墓から出土)



玉類 (首飾りなどの装飾品) (3・4 号墓から出土)



鉄の矢じり (3 号墓から出土)

(殿山横穴墓群資料より)

2016 年
新年の抱負を
漢字一文字で
表しました。

増 仲間を増やし、力を増して、更に強く前進！
民 戦争法、沖縄、原発、TPP、国民共同で暴走を止める年に。
輝 貧困と格差をなくし、大人も子どもも一人ひとりが輝く社会に。
憲 野党は共闘！を草の根から広げ、立憲主義を取り戻す年に。
新 新しい政治を創る年に！！

江口じゅん子
桜井みのる
たかじょう訓子
中里光夫
村田義則